工事原価管理の徹底で負担軽減

発注アプリ、クラウド活用の新たな形を年内発表

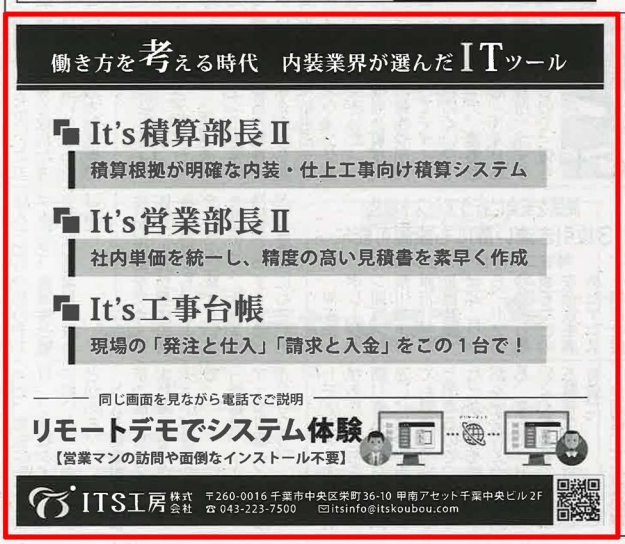
ITS工房

建築内装工事に特化した積算代行、ソフト開発を行うITS工房（千葉市）は、4月に鈴木晴氏が社長に就任し、新体制での事業展開を開始した。

同社のソフトは工事原価管理ソフト「It's工事台帳」、内装積算システム「It's積算部長Ⅱ」などがあり、建築専門工事業専用として幅広く採用されている。

It'S工事台帳は工事の予算、原価、発注、仕入れ、支払い、収支など各業務の情報を一つにまとめることで、現場予算と実行予算を見比べ必要なデータや月度、発注日、納品日別に表示される仕入れ先など各業務の情報を管理や一つの画面で請求・入金を対比して表示でき、必要なデータの集計・抽出が容易にできる。同社は、It'S工事台帳の利用効果をそれぞれが適時に把握上げるため、より手軽に発注データが作成できるアプリを開発中だ。これにより、材料発注データはクラウド上に蓄積され、仕入情報をより明確にできるようになる」と話す。

It'S積算部長Ⅱはフローリング、軽鉄下地、ボード・耐火壁、クロスなど工事区分ごとに自動で仕分けでに集計できる積算業務用ソフト。現在、It'S積算部長Ⅱはビル工事の軽天ボード施工業者の利用が多い。今後は木造住宅でも軽天利用が高まるなか、木造住宅向けにアピールしていく。また同社は工事施工管理の視点で、住宅CADデータからの材料拾いがしやすくなる仕組みもつくっていく。

鈴木社長は「建築業界における問題を洗い出し、業務負担の軽減できるよう開発を進めている。建築業界はまだ電話やFAXでの材料発注業務が多い。そのため、データ管理は工事管理者と経理・事務担当が行い、業務が二重になっている。また発注データが蓄積されておらず、工事店ごとの発注状況が分かりにくく業務の負担になっている。現場や外出先でも簡単に材料を発注できるアプリを開発中だ。これにより、材料発注データはクラウド上に蓄積され、仕入情報をより明確にできるようになる」と話す。

It'S積算部長Ⅱはフローリング、軽鉄下地、ボード・耐火壁、クロスなど工事区分ごとに自動で仕分けでに集計できる積算業務用ソフト。現在、It'S積算部長Ⅱはビル工事の軽天ボード施工業者の利用が多い。今後は木造住宅でも軽天利用が高まるなか、木造住宅向けにアピールしていく。また同社は工事施工管理の視点で、住宅CADデータからの材料拾いがしやすくなる仕組みもつくっていく。